

# 衛生委員会 議事録

日時	2020年9月24日		18:20	～	18:50			
場所	とうざい株式会社 1階事務所							
参加者	○	曲道英治	○	境力	○	小笠原さやか		高木伸也
	○	境恭平	○	三浦千晴		杉村直也	○	山道隆
		瀬川絹子	○	漆澤真紀子				

※氏名の前の「○」は参加、「空欄」は不参加

議題	審議内容
<p>1. 各事業所からの報告</p>  <p>2. 9月のテーマ 応急手当について</p>          <p>3. 次回</p>	<p>一時的に2時間の短縮勤務になった。(三浦) 他の会社で、やけど等事故の連絡あり。気を付けましょう。(山道) 委員会に来る途中(会社の近く)で事故現場目撃!(漆澤・三浦) 9月25日まで、交通安全週間となっています。夕暮れ時が早くなり、天気が悪い日も多いですので、これまで以上に気を付けて慎重に運転しましょう!</p> <p>心臓が止まってしまうような重大な事故はいつどこで何が原因で起こるか分かりません。心肺蘇生やAED等の応急手当を行えば救命の可能性はおよそ2倍になることが分かっています。日本では119番通報があつてから救急車が現場に駆け付けるまでに平均9分かかります。そばに居合わせた人が応急手当を行うことが重要となります。</p> <p>◎救命の連鎖◎ ①心停止の防止：初期症状に気づいて救急車を要請すること ②早期認識と通報：傷病者を発見したらただちに心停止を疑い119番通報を行う ③一時救命処置：心肺蘇生とAED ④二次救命処置と心拍再開後の集中治療：医師や救急救命士による薬剤投与、医療機器を用いた治療、心拍再開後は必要に応じて集中治療を実施 市民は①②③を行う、それぞれが出来ることをしっかりとすることで助かる人がいます。救命処置を救急車がくるまでにした場合には助かる可能性が高くなります。</p> <p>日本人の三大死因はがん・心疾患・肺炎です。疑わしい症状があつた場合にはためらわずに救急車を呼びましょう。子供の場合には不慮の事故の突然死が多いです。安全に注意し、事故を未然に防ぐように努めましょう。</p> <p>突然人が倒れたら、 ①周囲の安全を確認する(道路で倒れている場合など特に注意) ②傷病者に近づき反応(意識)を確認する ③反応がなければ大声で叫び応援を呼ぶ ④119番通報及びAEDを現場に届けてもらうよう協力を求める</p> <p>胸骨圧迫はまず10秒以内で普段通りの呼吸かどうかを確認し、心停止と判断した場合胸骨圧迫を開始。胸骨圧迫30回→人工呼吸2回→胸骨圧迫30回。これを救急車が到着するまで絶え間なく繰り返します。胸骨圧迫は5センチ程度沈むくらいまで。 ※小児の場合は体の3分の1が沈む程度で、乳児の場合には指2本等で行う</p> <p>2020年10月22日(木)、次回は今回の続きから(AEDの使い方)行います。よろしくお願いたします。</p>

とうざい株式会社

添付資料：応急手当の知識と技術を身につけましょう(参考：消防庁・政府広報オンライン)

2020年9月25日 作成

承認	審査	担当
曲道	小笠原	恭平